



小学校市費講師16名不足(3/2時点)、枚方教組 ダブルカウント・教員不足問題で、市教委へ申し入れ

組合の調査で教員不足の深刻さが明らかに

昨年、枚方教組が教員不足実態調査を実施することで、市教委が具体的に明らかにしない教員不足が、極めて深刻な状態であることが明らかになっていました。

さらに、枚方で独自に市費講師を募集して実施しているダブルカウントについても、府費講師を含めた教員確保の困難が広がる中で、3次募集まで行っても結果的に－16名となっていました。

あちこちで36人以上学級が強いられることに

このため、関係する学校でダブルカウントの断念、35人をこえる学級での編成を迫られる学校が広がっており、子どもの教育環境の悪化や、教員の負担などを懸念する声が学校から上がってきていました。

組合として職場の声・実態をもとに強く申し入れ

枚方教組は、3月24日に、市教委の教職員課、指導課に対して、「ダブルカウント・教員不足問題についての申し入れ」をしめして、学校現場の困難な状況、欠員の分を残りの先生たちの負担と犠牲で何とか持ちこたえている実態を、現場の声を示しながら、対応を強く申し入れました。

これまでも、組合で一緒に力を合わせて、声を上げよう

枚方教組は、教員不足問題を大きく取り上げてこれまでも市教委に様々な要求を突きつけ、実現を求めてきました。その中で、市費講師の待遇改善や、支援教育支援員や不登校支援員の拡充、授業時数の弾力化など多くの幼く湯も実現してきています。多くの先生と組合にも加わっていただいて、さらに力を合わせて、声を上げることで、切実な要求を実現していきましょう。

大規模再開発の市庁舎移転条例提案

賛同の見通し得られず、提案取り下げ 2度目に！

枚方市議会の3月最終日に、伏見市長から、市駅前の大規模再開発のための市庁舎移転条例の提案を取り下げると申し出があり、議会で承認されました。

伏見市長は、市庁舎を現在位置から、枚方警察前の旧府民センター跡地へ移転して、市駅前の広大な市有地を民間企業に売却し、タワーマンション、大規模商業施設中心の再開発計画を強力に推進してきました。

しかし、市民の間からも多くの疑問や反対意見が広がり、広く多様な範囲の市民が旧市民会館大ホール跡地

申し入れ項目の主な内容

1. 市費講師不足の状況、ダブルカウントできない学校数・学級数を明らかに
2. ダブルカウント実施できない学校への支援策・負担軽減策を示すこと
3. ダブルカウント実施できない学校の保護者へ司教として説明の実施を
4. 4月以降でも、市費講師の確保、配置に取り組むこと
5. 市教委の学校への課題、指示を見直し、学校・教員の裁量権の拡大・尊重した働き改革、業務見直しを
6. 人事異動年限短縮の中止を
7. 中学部活動指導員増員、試合等の引率・運営の負担軽減の具体化を

への市庁舎建て替えを求めて運動が続けられてきました。

また、議会の中でも大規模再開発で、貴重な市有地を売却する問題点や開発に伴う膨大な市の財政負担への疑問と、それに伴う市民サービスの削減の問題から、市長へ厳しい批判が続けられてきました。

しかし、市長は今後も従来の計画実現に固執しており、さらに理解を得られるように取り組むとしています。

南海トラフ大地震が懸念される中、老朽化が深刻な市庁舎の建て替えは緊急の課題です。市長の大規模再開発に固執することなく、市民会館大ホール跡地への建て替えによって、早期で、財政負担の少ない建て替えに転換することが重要です。

なにわの教員採用選考学習会

めざそう！！仲間とともに (略称・めざとも)

「めざとも」は「ともに励ましあいながら合格をめざそう」と 2006 年から始まった教員採用選考学習会です。採用選考試験を受ける人、正規採用された人たちで実行委員会をつくり、思いやアイデアを出し合いながら学習会に取り組んでいます。講師の先生同士の交流やつながりづくりもできる貴重な機会です。

- 第1回 4/26(土)13:30～たかつガーデン 面接対策、合格者体験談
- 第2回 5/10(土)13:30～たかつガーデン 模擬授業対策、練習
- 第3回 6/22(日)13:30～たかつガーデン 面接練習・面接個票の書き方

参加費各回 1000 円事前申し込み必要
Web 申し込みのみ

詳しくは、
こちら。⇒



4月から、子の看護休暇 「感染症の学級閉鎖、保育所・学校行事」にも拡大

府教委は、3 月 27 日、府立学校長と市町村教委に対し、「職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部改正について」を通知しました。

昨年 11 月、府労組連秋季闘争において、子の看護休暇の取得事由拡大などについて、最終回答で勝ち取りました。その具体化として、今回の通知が発出されています。この間、育児と仕事の両立のための制度拡充などを、粘り強く、府労組連として要求し続けてきた成果といえます。

大教組は府教委と折衝し、子の看護休暇の取得事由については、**学校からの連絡通知の提出**

は必須ではないことを確認しています。また、**短期介護休暇の取得の際、校長が診断書の提出を求める事例が多くあることを府教委に訴え、診断書の提出は必須ではないことを確認**し、改善を求めました。

枚方では、市教委が介護休暇等に、医師の診断書か公的機関の証明書の提出を市独自に義務付けていますが、厚生労働省、府教委では、診断書は必要ないことを明示しており、市教委としての対応が問われます。

4月からの子の看護休暇、 介護離職防止の取り組み

1. 時間外勤務の免除の対象となる子の範囲の拡大

「3 歳未満」を「小学校就学前まで」に

2. 介護離職防止に向けた措置

介護両立支援制度等の個別の周知・意向確認を行う
新たに「介護ハンドブック」を作成

3. 子の看護休暇の取得事由の拡大

○感染症に伴う学級閉鎖等

○学校等の通知を受けて子とともに参加する

子の教育又は保育に係る行事等も取得可能に

4. 実施時期 2025 年 4 月 1 日

あなたも全教・枚方教組に！

組合に入った方がゼッタイいいコト

① 仲間ができて、相談できる、
話し合える、助けあえる



組合加入申し込み
QRコード



仕事や職場の悩み、困ったときに、学校では相談しにくい…。そんなことも、組合に入れば、仲間ができて、相談したり、話し合ったり、たがいに助け合ったりできます。いつも組合の集まりで、楽しい話し合いや、活気のある意見が出し合っています。



② 一人では無理でも、組合だと
声を上げやすい要求を実現しやすい



仕事や権利・制度の使い方、管理職や委員会の言うことがおかしい、疑問に思っている、一人では言い出しにくい、どうしたらいいか……。でも、組合なら皆さんの声を取り上げ、組合として、みんなで声を上げ、実現に向けて取り組みます。今までにも、声を上げて実現できたことがたくさんあります。



③ 職場をこえて、交流したり、
情報聞けたり、教育について学べます



自分の学校で当たり前だと思っていたのが、他の学校では違うのがわかったり、組合に行くと、教育や権利・制度の話も早く、詳しく知ることができたり、組合の学習会、教育講座では、他では聞けない、斬新な取り組み、これなら自分もできる、子どもたちが目を輝かせる実践、教材をいっぱい学べます。



2025新歓まなび庵

「新学期・クラスづくり 授業づくりアイデア交流会」

日時：4月5日(土) 14:00～16:30

場所：ラポールひらかた 3F 第1研修室

※終了後、交流会予定、食事しながら続きの交流、おしゃべりを。

新学期のスタートに当たって、クラスづくり、授業づくり、アイデア交流会を行います。去年も参加者から大好評。「いつもチラシを見て参加したいと思っていました。」と期待も反響も大きい学習会です。

これからのクラスづくりや授業づくりをどうしていけばいいの、自らの経験をもとに、実践や教材を持ち寄って、話を聞けます。

もっとこんなこと聞きたい、こういう場合はどうしたらいい？職場では聞けないことも、気軽に質問できます。

実践報告 阪田優紀さん（桜丘北小）
実践・教材アイデア交流コーナー



昨年の参加者の感想「やってみたいアイデアがたくさん！」

- 4月忙しくてクラスのこと考える余裕がなかったので、始業式どうしようと不安でしたが、話を聞いて子どもたちとの出会いを明るく楽しいものにしたいと前向きな気持ちが芽生えました。
- いろんなゲームや身近で楽しく、体験しながら学べる方法を教えてもらって、ぜひやってみたいと思いました。話を聞くだけでなく、体験しながらできてよかったです。



事前参加申し込みリンク、当日参加も歓迎